

議会だより

東くらし

第132号

平成29年
2月10日発行

発行 鹿児島県東申良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



伝統の行事を
いつまでも…

～七草祝い 宮貫神社～

一般会計補正予算2億4655万円追加 ……	2
議員行事出席簿・議長公務等 ……	5
「一般質問」	
交通弱者対策について等 ……	6
柏原こうしん跡地「にこにこ館」オープン…	18
柏原海岸清掃活動 ……	19

見込額を上回る

平成28年第4回定例会は、**12月9日から22日までの14日間**の会期で開きました。今定例会では、同意1件、承認2件、単行議案6件、補正予算6件等を審議しました。

また、選挙管理委員及び補充員の任期満了による選挙があり、当選者が決まりました。一般質問では8名の議員が登壇し、町長の政治姿勢に対する質問を行いました。



10月1日に発足した町消防団女性消防隊（消防出初式 規律訓練「H29年 元日」）

補正 予算

一般会計（2議案）及び4特別会計補正予算が町長より提案され、全会一致で原案可決しました。今回の一般会計補正予算は、歳入ではふるさと納税が予想額1億3千万円を大幅に上回る寄附金が集まり8千万円を増額しました。また歳出では、新たに誕生した女性消防隊の活動車、来年度柏原・安留地区に設置予定の避難施設の設計委託料などを計上しました。

平成28年度補正予算

（単位：千円以下切り捨て）

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	2億4655万円	49億2600万円
国民健康保険特別会計	2683万円	13億4613万円
介護保険事業（保険事業勘定）特別会計	△12万円	9億5835万円
介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計	20万円	761万円
後期高齢者医療特別会計	△182万円	9403万円

「一般会計」歳出の主なもの

- * 教職員住宅建設工事設計委託料 200万円
- * 公用車購入費（2台） 320万円
- * ふるさと納税ポータルサイト管理包括委託料 726万円
- * ふるさと納税返礼品発送業務委託料 1580万円
- * ふるさと納税報償物品 4281万円
- * 東串良町ふるさと応援基金積立金 1492万円
- * LED照明設置工事請負費（下之馬場～山野線） 1700万円
- * 保育所運営費 2700万円
- * 農業施設等災害復旧支援事業補助金 5560万円
- * 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 3351万円
- * 女性消防隊活動車 250万円
- * 池之原小学校校舎増築に係る備品購入費 206万円
- * 避難施設建設工事設計委託料 300万円



提出議案（予算以外）の採決結果

議案番号	議案名等	内容	採決結果
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度東串良町一般会計補正予算（第6号））	台風16号による被災施設の修繕費等を計上したもの	全会一致で承認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度東串良町一般会計補正予算（第7号））	台風16号により被災したハウスの再築、これに追随し来年度計画分の事業（活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金）が前倒し採択されたため計上したもの	全会一致で承認
議案第55号	東串良町定住促進住宅用地の貸付け等に関する条例の一部を改正する条例について	第5次定住促進住宅用地名及び貸付単価の設定、住宅建築後に貸付対象者が変更になる場合等に必要な改正等	全会一致で原案可決
議案第56号	東串良町特別職の職員の諸給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年人事院の給与勧告に基づく条例改正	全会一致で原案可決
議案第57号	東串良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年人事院の給与勧告に基づく条例改正	全会一致で原案可決
議案第58号	東串良町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	農業委員の選出方法を市町村長の任命制に移行等 【4ページに関連記事】	賛成5、反対4 賛成多数で原案可決
議案第64号	東串良町税条例の一部を改正する条例について	消費税増税が2年6か月延期になったことに伴う条例改正	全会一致で原案可決
議案第65号	東串良町行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について	委員の定数を「10人」から「12人」に改めたもの	全会一致で原案可決

農業委員会の委員及び 農地利用最適化推進委員の 定数を定める条例(制定)

賛成5、反対4で原案可決

農業委員の定数は削減、
農地利用最適化推進委員を新設

「農業委員会等に関する法律」が改正され、農業委員の選出方法が、選挙制と市町村長の選任制から、市町村長の任命制に改められました。

また、主に合議体として意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う、農地利用最適化推進委員が新設されました。

このことにより、次のとおり本町の農業委員等の定数を定めました。なお、本条例の定数は、現農業委員の任期満了後から適用されます。

●農業委員 定数 7人

町長が議会の同意を得て任命します。

改正前 定数13人

(選挙委員8人、選任委員5人)

●農地利用最適化推進委員(新設) 定数 5人

農業委員会が総会において、農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者のうちから委嘱します。

反対討論

TPPにも見られるように農業の分野は規制を外して市場に投げ出すというのが今の政府の動きのように思う。農業委員会を解体する方向が始まったのではと危惧している。

今年4月に施行された改正農業委員会法は農業委員会の公選制を否定するものであり、選挙ではなく町長の推選ということ、町民の信任を得ていないということになる。

(宮地利雄議員)

農業委員の定数は現在13人で今回7人の定数に減らされる。本町は農業が基幹産業であり、農業委員の職務は大変重要視される。本条例の改正で農業委員の機能が十分に果たされるものとは思えない。

(泊 重巳議員)

賛否状況

賛成

原田 猛 議員
上園 ミキ 議員
前田 隆 議員
牧原 完治 議員
児玉 勇治 議員

反対

宮地利雄 議員
泊 重巳 議員
西園 貞美 議員
瀬戸山譲一 議員

選挙管理委員・補充員の 当選者が決まる



任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員を、次のとおり選挙で決定しました。

選挙管理委員(4名)

- ◎ 堂免 京子氏(岩弘上東)
- ◎ 松留 和江氏(上山野)
- ◎ 出水 和利氏(別府原中)
- ◎ 児玉 昇三氏(豊栄上)

任期4年
平成28年12月27日から
平成32年12月26日まで

選挙管理委員補充員(4名)

- 1位 北園 昭人氏(山野)
- 2位 林田 博昭氏(東町)
- 3位 古屋敷哲夫氏(岩弘中)
- 4位 中園 二雄氏(岩弘下北)

※補充員の任期は選挙管理委員と同じです。選挙管理委員に欠員が出たときに、順位の順で補充されます。

陳情1件を採択

降灰対策事業における陳情書

▼提出者 東串良町園芸振興会
会長 永野 敏郎

▼審査結果 全会一致で採択

本件は意見書提出が妥当とし、鹿兒島県知事へ次の意見書を提出しました。

〈意見書〉

活動火山周辺地域防災営農対策事業実施基準の要件緩和と補助率の引き上げを求める意見書

議員提出の意見書案を可決

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

▼提出者 町議員 宮地 利雄

▼審査結果 全会一致で可決

〈意見書の提出先〉

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・内閣官房長官
財務大臣・総務大臣
厚生労働大臣

●固定資産評価委員の選任

全会一致で同意

外園享氏(新川西5637)
の任期満了に伴う、再任命の提案があり同意しました。

定例会及び委員会等、町内行事への出席状況

(備考:○…出席 ×…欠席 △…同日複数会議で1会議に出席 遅…遅刻 早…早退 他…他の公務 -…該当なし)

日付	会議・行事等	児玉 勇治	瀬戸山 譲一	牧原 完治	西園 貞美	泊重 巳	前田 隆	上園 ミキ	原田 猛	宮地 利雄	田之畑 稔
10/3	全員協議会、広報編集委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10/6	県議長会広報研修会	-	×	-	-	×	○	×	○	○	○
10/9	町民運動会	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
10/14	郡議長会議員大会・全議員研修会及びスポーツ大会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
10/16	町振興会	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○
10/18-19	調査特別委員会(にぎやか雪山) 事務調査(静岡県浜松市)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
10/23	町文化祭	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○
10/26	各常任委員会、特別委員会(にぎやかタウン雪山)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/27-28	県議長会常任委員長研修会	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-
10/30-11/1	関西・東くしら会及び特別委員会事務調査	○	○	○	○	他	○	○	○	○	○
11/4	広報編集委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
11/4	町戦没者追悼式	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
11/14	特別委員会(にぎやか雪山)	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
11/16	永吉グループ杯グラウンドゴルフ大会	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○
11/18	各常任委員会、全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
11/28	議会運営委員会	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○
11/30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/6	議会運営委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/9	第4回定例会本会議1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/10	第37回東串良グラウンドゴルフ大会	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-
12/12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/13	総務民生常任委員会	-	○	○	-	-	-	○	×	-	○
12/14	教育産業常任委員会	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-
12/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/16	第4回定例会本会議2日目	○	○	○	○	○	○	○	早	○	○
12/20	全員協議会、特別委員会(地方創生、議会活性化)	○	○	○	○	他	○	○	○	○	○
12/21	総務民生常任委員会	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○
12/22	第4回定例会3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/26	柏原海岸清掃ボランティア活動	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
1/1	町成人式	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
1/6	全員協議会、広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/8	消防出初式	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
1/9	新春(第38回)東串良グラウンドゴルフ大会	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-
1/15	町内一周駅伝競走大会	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○
1/21	柏原会との懇談会	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○

議長の公務一覧

日付	用務	場所	備考
10/7	木材PR・木材需要拡大の要望活動/各畜産共進会入賞祝賀会	役場/さつき苑	
11/7-10	郡議長会正副議長・事務局長行政産業研修視察、全国議長会町村議会議長全国大会及び県議長会主催本県関係国会議員への要望活動	岐阜県、三重県、東京都	副議長も出席
11/22	町老人クラブ連合会スポーツ大会	町体育館	
12/5	行政改革推進委員会	保健センター	
12/25,29	消防年末警戒	町内各消防分団車庫	29日は副議長の代理として児玉議員出席
1/12	志布志石油備蓄基地新年会	まえだ家	
1/14	県下一周駅伝競走大会結団式	大隅地域振興局別館	
1/19	大隅半島商工会「賀詞交歓会」	かのや大黒ランドホテル	
1/24	町商工会新春懇談会	まえだ家	

一般質問

8 議員が登壇

町政を問う

※内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内 P.12 に掲載)をご覧ください。

企画課長 柏原から豊栄までの往復区間で、柏原は自宅まで迎えに行つて、豊栄のバス停までが原則である。金額は、柏原〜豊栄区間1280円の内、200円は自己負担、残

宮地 バス代替タクシーであるが、現在の制度内容はどうなっているか。

将来的には唐仁古墳群や柏原海岸の観光整備を行った上で、町内を周遊する観光客も視野に入れて、検討する余地はあり得ると思う。

町長 福祉バスが、現在、火曜日と木曜日に物産館を回って巡回している。現時点では町全体の巡回は考えていない。

宮地 交通弱者対策として、町内各地と役場、病院、商業施設、これなどを巡回するバスの運行を本町も始めるべきではないか。

Q 町内周回バスを運行すべきではないか
A 現時点では検討していない



宮地 利雄 議員



老人クラブ、いきいき体操、お風呂などで月500人ほどの利用がある福祉バス

町長 交通弱者、高齢者の免許証返納など考えたときは、今後検討すべきことと思う。

宮地 この代替タクシーの制度を、全町に拡大する考えはないか。

町長 本年度は、登録者64人、11月までの金額が51万9320円である。

Q 太陽光発電を公共施設でも設置すべきではないか
A 町でも取り組みが必要がある。今後検討したい

宮地 太陽光発電に対する償却資産税は、どの程度本町の歳入に入っているのか。

税務課長 本年度は92件で金額が1301万9100円となつている。来年度以降は、これをピークに年々減つていくという試算をしている。

宮地 各家庭への太陽光発電への町の助成措置というのは、まだあるのか。

町長 平成27年3月31日で廃止している。

宮地 復活させるべきじゃないのか、それから公共施設でも設置をしていくべきではないのか。

町長 現存する町の施設については、設置は困難な状況ではないかと思う。また、学校関係の屋上は避難場所として確保したい。しかし、太陽光発電等の自然エネルギー発電については、町でも取り組みが必要があると思うので今後検討したい。

Q 入学準備金を入学前に支給できないか
A 中学1年生については30年度に向けて検討していく

宮地 就学援助であるが、特に7月ごろ支給される入学準備金について、ぜひ入学前に支給できないか。文科省も児童・生徒が援助を必要とする時期に、速やかに支給できるように、十分配慮しなさいという通知を出している。通知を本町の教育委員会は承知しているのか。

教育長 承知している。

宮地 実態はどうなっているのか。

教育長 所得証明書が必要なため、申請書の提出が6月の初旬まで、審査を6月下旬頃行っている。よって、初回支給金額は7月に年額の半額というところで支給している。

ただし、中学1年生については、小学校6年生の時点では、実情が把握できているので、29年度は難しいが、30年度に向けて諸規定の改正や予算の計上を検討することで、可能ではないかと考えている。

Q 古く危険な空家について どのような対策を 講じるのか

A 29年度に空き家 対策協議会を設置し、 対処方法を検討する



前田 隆 議員

前田 町内一円で古く危険な空き家を見受ける。こうした空き家について、町長は基本的な対策をどう考えているのか。

町長 町内の空き家については、平成27年度に空き家バンク登録事業委託事業により調査を実施した。結果、空き家450軒を確認し、うち危険家屋に類する特定家屋の空き家を152軒把握したところである。

先般の台風16号上陸において、特定空き家による被害について隣接の居住者の方より報告も受けている。所有者や管理者の方々へ改善のお願いをしているが、中には所有者管理者の確認までたどりつかない物件もある。このような特定空き家は、周囲への危険はもとより、町の景観の影響

も考えられるが、個人の財産なので、所有者や管理者へ理解を求め対策を講じていきたい。

平成29年度においては、東牟婁町空き家対策計画を策定すべく、東牟婁町空き家対策協議会を設置したいと考えている。この協議会において、特定空き家の対処方法の検討や、活用できる空き家の推進等を図りたい。

前田 空き家対策協議会を設置し、特定空き家の対処方法の検討など進めたいとの考えであるので早急に対応するよう要請する。

前田 家屋を撤去した場合、宅地の固定資産税はどうなるのか。

税務課長 住宅用地については、地方税法及び町条例で、土地の面積により特例措置が

ある。まず住宅用地の200平方メートル以下は、評価額の6分の1となる。200平方メートルを超える部分は3分の1となる。もちろんこのことは住宅が建っているときのことであり、住宅が撤去された場合は、この特例がなくなるので、基本的には税額は高くなる。

前田 住宅を撤去して、その跡地を家庭菜園などとした場合、税額はどうか。

税務課長 地目として宅地に残っておれば、宅地評価をすることとなる。

前田 古く危険な空き家の撤去が進むよう、解体等の助成事業を新設するか、また固定資産税の課税について対策を講じるなどの考えはないか。

町長 危険な空き家の解体に対する助成事業は、私自身も必要であると感じている。今後設置する空き家対策に関する協議会での審議や計画に基づき検討していきたい。

固定資産税の課税対策については、平成26年度法律第127号の空家等対策推進に関する特別措置法より、市町村長が法に基づき特定空き家等

の所有者等に対して、周辺の生活環境の保全を図るため、必要な措置をとることを勧告した場合は、当該特定空き家等にかかわる敷地について、固定資産税等の住宅用地特例の対象から除外することとなっている。これらの措置を行

うに当たっても、今後策定する空き家に関する計画や協議会において審議していきたいながら、法律に沿って措置を講じていきたいと考えている。

前田 空き家対策は今後、大きな問題になると思うので、前向きな検討を要望する。

議会を傍聴してみませんか

町政を知る良い機会ですのでぜひお越しください



3月議会は10日からの開会予定です

～手続き～

傍聴人名簿に氏名と年齢を記入するだけです

※本会議については防災無線でお知らせします。

Q

にぎやかタウン雪山
地盤調査に沿った改修は
なぜしなかったのか

A

住民説明会を行ったが
理解を得るには困難な状況だった



牧原 完治 議員

牧原

中央開発株式会社によるにぎやかタウンの地盤調査が、27年11月から28年3月まで行われた。この調査は原因究明と、その後の適切な対策工を目的に行われた。その結果、以前の建築物構築時の造成盛り土の施工不良や建築物取り壊し等の廃棄物投棄の埋め立てが指摘され、また、対策工として薬液注入工法等が示された。

町の経費を960万円ほど投入し調査されたが、なぜ示された対策工法等を採用しなかったのか。

町長 地盤調査結果による改修が基本であるが、それ理解が得られれば早急に進めていきたいと考えていた。

しかし、住民説明会で調査結果による改修で十分に安全性があるという説明を行った

が、廃材などが確実にある以上、理解を得るのは非常に困難な状況であった。

このことから住民皆様と合意に至るのは困難と判断し、住民皆様の心情にも配慮しながら、現在、西側へのひき家による移転と、不動産鑑定価格による買い取りの2つの案に絞り、合意に至れないか調査を行っている。

牧原 解決策として、西側へのひき家による移転と、不動産鑑定価格による買い取りの2つの案を採用した経緯を尋ねる。

町長 町が定住を呼びかけ、夢と希望に満ちて本町に定住してくださったにもかかわらず、残念ながら、結果として廃材等があり地盤に悪影響を及ぼしている。住民皆様の心情として、いくらか改修工事に

より安全性が確保されても、地盤に対する根強い不安や不満があり、その場所にとにかく住み続けることに抵抗感がある。
お互いに合意がなされない以上、当然にこの問題は解決しないわけであり、2つの案を選択肢に絞ったところである。

Q

町内建築業者への発注者
に対する補助金交付は考
えていないか

A

29年度当初予算に
計上する考えである

牧原

9月2日付けで、町内の4建築業者から、他町が行っている町内建築業者への発注者に対する補助金交付制度の要請書が議会に対して提出された。町では第5次定住促進住宅用地の整備を現在進めているが、町内の建築業者育成の観点から、29年度予算にこうした補助金交付の予算を計上する考えはないか。
町長 29年度当初予算で計上を考えている。具体的な補助金の額は、現在、予算要求の時期でもあるので査定等も行つたうえで決めることとなる。



町内建築業者育成のために、発注者への補助金交付制度が必要では！

補助金制度の交付要件として、これは案であるが次のように考えている。

● 町外から転入され、新築もしくは住宅を購入した場合に限る。

● 再転入者については、一定期間、本町以外に住基登録があること。

● 住宅に5年以上居住する意思がある者。

● 満50歳未満で、配偶者、また義務教育修了に満たない者を扶養する者。

● 居住地の振興会に加入している者。

● 過去3年間に市町村民税の滞納がない者。

以上のようなことを検討したうえで査定し、予算計上したいと思う。

Q

独居老人及び高齢者の
情報収集はどのように
しているのか

A

福祉課福祉係と
地域包括支援センターで
行っている



上園 ミキ 議員

上園 高齢者福祉対策であるが、独居老人及び高齢者の情報収集はどのようにしているのか。

町長 主に福祉課福祉係と、地域包括支援センターで行っている。福祉係は、東串良町在宅介護支援センターと委託契約し、支援を必要とする高齢者等の実態把握や見守りなどを行っている。在宅介護支援センターでは、専門の相談員が訪問、面談等により高齢者等の心身の状況や、その家族の状況などの実態を把握、調査するとともに、在宅福祉の総合的な相談に応じ、介護サービスの実施機関との連携・調整を行っている。

そのほか、今年度は民生委員・児童委員の方々に災害時要援護者名簿の作成を依頼し

た。大規模災害時には、自力で避難することが困難な高齢者や障がいのある方々を、いかにいち早く避難させるかが課題になる。そこで、前もって対象者を把握し、警察や消防団、そして自主防災組織へも名簿をお渡しし、災害時の支援体制を整えておくものである。

上園 今回、柏原地区を対象に買い物弱者等の対策として、2人の支援員が配置された。町内至るところにこのような人たちはたくさんいると思うが、今後他の地区にも支援員を置く気はないか。

町長 現在、モデル的に柏原に支援員を置いているが、必要などころは随時、配置すべきだろうと思っているので検討していきたい。

Q

柏原地区の人口増の課題
にどのように取り組むか

A

池之原地区より規模の
小さい定住化事業に
取り組みたい

上園 柏原地区における人口増の課題は喫緊の課題であると考ええる。今後どのように取り組んでいくのか。

町長 池之原地区のような大規模な定住化事業ではなく、規模を小さくして町内外を問わず希望者を募るといったケースでの取り組みや、低所得者等にも配慮した町営住宅の建設も計画していきたい。

また、PFI事業（民間資金活用）を活用した賃貸住宅など、関係者とも協議してい



柏原地区に集落支援員が配置された
(にこここ館：柏原)

上園 柏原地区に人が来ないから何もしないのではなく、人が来るためにどうすべきか対策を講じることが大事であると思う。町長の勇気ある決断をお願いしたい。

町長 柏原地区に定住化促進住宅用地をつくる場合など、貸付料は安い価格で表示したい。

Q

にぎやかタウン雪山
今後の対策は

ひき家、買い取り等全ての協議完了後、合意書を
交わすことになる

上園 にぎやかタウン雪山の土地陥没問題が発生してか

ら6年が過ぎようとしている。今後どのように対策を進めるのか。

町長 住民との話し合いの結果、現在、西側への移転希望3軒、不動産鑑定価格での買い取り希望3軒、もう1軒が協議中である。これが完了後、再度協議の場を設けることとしている。

上園 新たな陥没箇所はないか。

町長 家屋北側に1軒、40センチと60センチの最大80センチ程度の空洞が発生した。これは応急処置した。

上園 ボーリング調査等の結果により対策も示されたが、被害者住民は別な方法我希望した。これは、示された方法では安全であることの保障が得られなかったからではないのか。

町長 被害者の皆さんが、納得していただけの方法で進めたい。

上園 この問題は、町が信義則上の義務を怠ったことが陥没の原因を生み出したと指摘する専門家もいる。被害者の皆さんと膝を交えて不安を取り除く努力をしていただきたい。

Q 給食で米飯炊飯まで 行う考えはないか

A 現行の 委託炊飯方式を 維持することが最善



児玉 勇治 議員

児玉 本町は台風16号の翌日から停電はなかったが、主食のパン・米飯を依頼している肝付町は停電のため小・中学校の給食が、1日目は保存食である救給カレー、2日目は弁当だったと聞いているが間違いはないか。

教育長 今の説明の通りである。

児玉 パンと米飯を委託している肝付町の業者への委託料は幾らか。

教育長 ほぼ190万円になると思う。1食25円の約650食分である。

児玉 本町での米飯炊飯を希望するが、今の施設の増築又は別の場所への建築は可能か。



おかずだけでなく、
米飯炊飯も本町でできないか

教育長 約650食分の米飯を自前で確保することは、設備・人員・経済的な問題により現状では非常に難しい状況のため、本町においては現行の委託炊飯方式を維持することが、現在の時点では最善かと考える。

児玉 本町もいち早く給食費の補助金制度が実施された。今以上に子育てしやすい町として子育て世代の定住化促進を図るためにも、本町のおいしい米を使った米飯炊飯を含めた全てを賄える施設の充実と、余裕のある予算を確保することで、子どもたちがおいしい給食を食べられるようになることを強く希望する。

Q 職員を県外の事務所などに 派遣する考えはないか A 2〜3年は厳しいが今後 積極的に取り組みたい

児玉 10月に鹿児島県大阪事務所と大阪ふるさと暮らし情報センターを事務調査に行ってきたが、鹿児島県大阪事務所と南大隅町の職員が派遣されていた。本町ではここ数年、県外へ1年以上出張した職員がいるか尋ねる。

町長 現在のところはいい。

児玉 県外にある県の事務所など職場外の場所に本町の職員がいることで、企業誘致、農畜産物の販売拡大、町への定住と空き家対策にもつながると思うがどうか。

町長 ここ2〜3年は厳しいと考えるが今後、県内の一部事務組合に派遣している職員の復帰や、新規採用職員が仕事に慣れた頃に、職員派遣に希望する職員がいるのであれば、積極的に取り組みたいと思う。

児玉 東串良町が合併なしで町を運営するには、職員の発想と培われた経験がとても



重要になってくると思う。若いうちに多くの職員が自治大学等を含む職場以外の場所で研修を積み、より多くの人たちと交流を持つことで、いろいろな知識を吸収し地方公務員としての資質向上にもなるはずである。人材育成の投資が行く行くは、本町の発展へとつながると思うので、職員の職場外研修を希望する。



▲県の大坂事務所
現在南大隅町、奄美市、いちき串木野市から職員が出向している

Q

町長のトップセールス折衝の結果の公表はできないか

A

ブログにも書き込むのでご覧いただきたい



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山

行政の動き、議会の動きが分かりにくいという町民の声を耳にする。議会では、持ち合う情報を皆で共有しあう場を作りつつある。

町長

町報の私の動向に注釈事項とかで書き添える形を取らせてもらうことと、併せて私のブログにも書き込むのでご覧いただきたい。

瀬戸山

その公表された情報をもとに議会、そして町民と議論・討議できるような場を設けることはできないか。

町長

私の方からは作りづらいところがあるが、要望があれば設定する。

Q

未利用の町有地を利用したソーラー発電事業に参画しては

A

今後皆と協議し、検討していきたい

瀬戸山

全国各地の公共団体が再生エネルギー事業に取り組み、発電等により収入を得るビジネス事業に参入している。

本町も未利用の町有地が相当あると聞いている。そこを利用したソーラー発電事業に参画する気はないか。

町長

そういう町でのビジネスも考えていかなければと思っている。今後、皆と協議しながら検討していきたい。

瀬戸山

町を活性化させる一つに、町の商店街の積極活用がある。私たち町の皆さんに

Q

柏原地区と唐仁地区で観光事業を立ち上げる予定はないか

A

柏原大相撲に集客するために環境を整えたい

瀬戸山

東串良町にしかない名物に、柏原大相撲、唐仁の古墳群と倭寇史観がある。この特徴を具体的な観光事業として早急に立ち上げる予定はないか。

お世話になる立場の者として、商工会発行の商品券の積極活用で町内の購買活動を盛り上げるスローガンを町長に打ってもらいたいでしょうか。

町長

強制はできないが、職員にも商品券を利用するよう促したい。



伝統行事の柏原大相撲、かつての活気を取り戻したい

町長

柏原地区の振興策として、柏原大相撲をちよつと工夫して盛り上げていただきたいなというのを考えている。相撲場の屋根もそうだが、あそこに多くの方々に来ていただく、集客するためにも環境をちよつと整えたいなと思っている。また、来年度

の県補助事業であるが、魅力ある観光地づくり事業の採択に向けて、今、申請中である。採択されるかどうか、まだわからない状況だが、古墳がある大崎町、そして肝付町、我が町の3町の広域的な取り組みを行うということ前提としている。

唐仁古墳群の関係では、6月と11月にシンポジウムを開く予定である。



わが町が誇る唐仁古墳群の観光開発に期待したい

Q 地域おこし協力隊は
どのような内容で
何人お願ひするのか

A 2名の募集、広報誌作成や
農商工の体験事業に携わってもらう



泊 重巳 議員

泊 現在、全国に地域おこし協力隊は3000人ほど、地域の活性化を図るために活躍している。鹿児島県内においても100人ほど受け入れられている。肝属郡の4町では、肝付町が5人、南大隅町が2人、錦江町が2人いるが、本町だけがない状況である。

こうした場合、本町でも地域おこし協力隊を受け入れるべく募集を始めたが、受け入れするにあたり、教育文化、観光、福祉、産業等の業務があるが、どのような内容で何人お願ひするのか。

町長 2名の地域おこし協力隊の募集を行っている。1人は観光PR、広報プランナーとして町内のイベントなどに出向き取材や広報誌作成に携わり、都会目線で本町の魅力や観光資源の発掘を行っていただく。もう1人は農商工

就業体験サポーターとして、本町の地方創生推進交付金の事業として行う農商工の体験事業に携わっていただく。

任期終了後は、前者は新たな観光資源や新たな商品開発により起業していただきたいと考えており、後者についても本町で農商工業に就業していただきたいと考えている。

? 地域おこし協力隊とは

総務省の取り組みのひとつ。人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うことにより、その定住・定着を図ることで意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。
※都市地域から過疎地域等に住民票を移動し、地方自治体が委嘱。おおむね1年以上3年以下の期間、地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、各種地域協力活動を行う。

Q にぎやかタウン雪山のひき家、買い取り後の活用は
町営住宅としての貸付け等を検討している

泊 にぎやかタウン雪山の土地陥没問題の対策であるが、ひき家希望者が3人、買い取り希望者が3人、1人はまだはっきりしないということであるが、ひき家と買い取りでは町の財政負担はどのようになるのか。

町長 7棟全てひき家にした場合は、1億4000万円ほどかかる。3棟をひき家で4棟を買い取ると仮定した場合1億3000万円を想定している。

泊 ひき家にしても、買い取りにしても、大変な財源が必要であるが、財源は何を考えているのか。

町長 過疎債を考えている。
泊 にぎやかタウン雪山土地陥没の原因については、大学の教授等も調査委員会に参加していただき、原因を究明した結果、廃棄物投棄埋土箇所不良土にすぎ間・空洞が生じ、新たな外力等の作用も加わり沈下、陥没が生じている。また、地下水位の変動により、緩い埋土箇所の不良

土が体積圧縮を生じ沈下が発生した事が、陥没の原因であるとしている。

にぎやかタウン雪山の陥没している土地の修復についても、大変な費用がかかると思うが、ひき家、買い取り後の活用はどのように考えているのか。

町長 ひき家をした土地については公営住宅等の建設を考えており、買い取った住宅については町営住宅として貸し付けや、都市から本町への移住を考えている方々に対しお話し住居的な活用ができればと考えている。

泊 にぎやかタウン雪山の陥没地は、定住促進住宅用地として推進した町の土地であり、町が賃貸者である。民法第606条に賃貸人は、賃貸物の使用及び収益に必要な修繕をする義務を負うとなっている。

被害者住民の意向、財政面を考慮して出来るだけ早く解決の方向に努力されるよう要請する。



会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。

☆役場1階ロビー本棚 ☆福祉センター
☆総合センター

是非ご覧ください！



Q

A

LED照明灯の不良機器の修繕はいつ実施したか

毎月定期点検を行い9月と12月に修繕を行った



西園 貞美 議員

西園 LED照明の稼働について尋ねる。9月の一般質問の中で、8月29日に点検したところ、1基が不点灯、3基がバッテリー劣化により点灯が短時間となっている。それぞれ修理依頼済みである。今後毎月1回定期的に点検を行い、不良機器については修繕の対策を講じていくと町長は答弁した。修繕対策など、いつ実施したか。

西園 いろいろ修理したことだが、現在もまだ何基も点灯していない。また、明かりが暗いところもある。修理したらこういうことはないと思うが、どうか。

町長 点灯していないところを明示していただければいいのだが。こちらでは一応点検している。

西園 執行部の方が守ってさえいけば、毎回私が質問することははない。町民の中に1基が100万円もする機械が灯りが点いていないじゃないかという苦言がある。もう少し真剣に偽りのない答弁をするようにお願いしたい。

自然災害発生時に、ライフラインが遮断された場合においても、避難誘導路として位置づけ、LED照明灯を非常

点検を行っている。8月29日の定期点検では、バッテリー劣化による点灯時間が短い照明灯が3基あったので、9月15日にバッテリー交換を行った。11月24日の定期点検では、1基のバッテリー劣化による不良が確認されたので、12月6日に修繕した。

照明として活用するのであれば、1基が100万円もするので、もっと大事に利用してもらいたい。

たまには、自分でも回って確認する気はないか。

総務課長 10月、11月、11月は2回定期点検を行ったところである。今後は、数回に1回ぐらいは町長にも同行してもらい確認していきたいと考えている。

Q

国保税、保育料が他の市町に比べて高い。下げる考えはないか

A

国保税引き下げは難しい

西園 国保税、保育料であるが、他の市町に比べて高い。子育て支援等の経済的な負担軽減をするつもりはないか。

町長 国保制度は加入者に高齢者を多く抱え、医療費が高くなる一方で、所得水準が低いといった構造的な問題が根底にある。今後も高齢化が進み、また医療費が年々高騰化していることを考えれば、国保税を引き下げることにはなかなか難しいと考える。

西園 医療費については、我が町だけではなくて、どの

町も高齢化という状況は同じだと思う。その中でも本町が一番高いと言われている。町長の選挙公約の中に、住みよい地域づくりというのがあったが、今の状況では全く反対で、一番住みにくい町だと思うが、どう考えるか。

町長 大隅半島では国保税率が一番高いので、何とかこれを避けるために一生懸命頑張りたい。

西園 東串良に夢と希望を持って住みたいと思っただけで、来てみたら国保税は高いし、保育料は高い。これで

は定住化の促進事業にも影響がある。他の市町並みに下げた気はないか。

町長 本町の国保税は、農家所得に頼っている現状がある。企業誘致とか、営業とか、そういう自営業の方々が増えると若干下がりも出てくると思う。今後はトップセールスを生かして企業誘致にも努めたい。

西園 税収がなかったら、ふるさと納税を集めることである。することはしないで、町民に負担をかけたらいけない。



子どもから高齢者まで住みやすい町づくりの推進を

地方創生特別委員会の調査報告

地方創生特別委員会では、大都市圏における地方への移住や企業誘致のニーズ、地方から大都市圏への情報発信の手法、また本町を含む県農産物の市場評価等について、次の3箇所の調査を行いました。



- ①鹿児島県大阪事務所
- ②鹿児島うんまかさつまいもの館（大阪市）
- ③大阪ふるさと暮らし情報センター

1 調査日

平成28年10月31日（月）
 11月1日（火）

2 調査の概要

① 鹿児島県の大阪事務所

（県の商工労働部の出先）は昭和32年には県大阪宿泊所として、集団就職生の受け入れをしていた。昭和39年に大阪事務所として開設。現在は大阪駅前第一ビルの9階で、11名の職員と県内の市町村から受け入れられている3名の職員で運営されている。

所管の業務は、かごしま応援寄附金、県人会、観光客の誘致、県産品の販売促進、U・Iターン、企業誘致、関西や中京地区への農産物や畜産物の販路拡大、就農相談などを行っている。

これらの内、かごしま応援寄附金（ふるさと納税）の募集は制度が創設された平成20年度に県と市町村でかごしま応援寄附金募集推進協議会を設立。事務局の県では東京・大阪・福岡事務所で現地推進本部を設置して様々な募集活動を行っている。この寄附金の居住地別の申込み状況は、件数で多い順に大阪、兵庫、

愛知、京都の順。額では多い順に京都、兵庫、大阪、愛知の順。件数の合計は307件、額の合計は1635万円である。

②

平成16年2月17日、大阪市中央区にオープンした。

同店舗は、鹿児島県から「鹿児島県産品PRパートナーショップ」の認定を受けており、鹿児島県産の農産物（さつまいもなど）や畜産物、水産物、加工食品などの販売に加え、新商品のテスト販売なども行っている。



大阪かぎんビル1階にある「鹿児島うんまかさつまいもの館」

③

「大阪ふるさと暮らし情報センター」は、ふるさと回帰に関するパンフレットや資料を常備し、田舎暮らしを希望する方に、より具体



▲井内所長から事業概要について説明を受ける



▲鹿児島県内の市町村も情報を発信している

的な地方の情報を提供するとともに、各種相談に応じている。ふるさと暮らしに関するセミナーも随時開催している。

3 調査を実施しての意見、感想及び町への政策提言等

①

県大阪事務所の南所長は本町役場に派遣されていた時期もあり、懇切丁寧に説明していただいた。県内市町村の掘り所、架け橋の役割を果たしている。しかし本町は広報誌も送付しておらず、情報の発信力が乏しいと感じ

た。本町の職員もこの事務所に意向し、研修するべきではないか。他町村に比べて出遅れを感じる。

本町のピーマンへの評価は極めて高いが、5年後10年後を見据えた対策が重要である。また、県内への企業誘致も取り組んで成果をあげているが、本町でも連携した取り組みが必要と感じた。

②

店内には県内各地の焼酎がずらりと並び、さつまいもや揚げたてのさつまいもの販売も行っている。鹿児島の特産品や工芸品を数多く取り揃え、鹿児島県出身の人のみならず、現地の人や観光客も楽しめるアンテナショップになっている。

③

毎月1000人もの来客や問い合わせがあり、古民家や就農、漁業を希望する人もいるというが、ここにも本町からの情報の発信はない。県内の多くの市町村が各市町のパンフレットを置いてるので、本町も加入すべきである。旧吾平町も単独で加入している。

兵庫県尼崎市で開催された

関西・東くしら会の報告

1 調査日

平成28年10月30日(日)

2 調査の概要と意見

第10回関西・東くしら会は、関西地域に在住し活躍されている本町出身者120名が出席して盛大に開催された。

出席者は、議会が提供した珍しい竹焼酎やふるさとの焼酎と「つけあげ」「かまぼこ」に舌鼓をうちながら会話を弾ませ親睦をかさねた。

また、出席者にはJA鹿児島きもつき農協と町園芸振興会からピーマンとキュウリが、(株)小鹿酒造からは焼酎が、町からは田舎味噌や醤油佃煮セツトなどがお土産として配られた。

出席者の主な意見・意向・出席者

●定住促進住宅用地貸付事業の推進で、池之原地区への若年人口の偏りにより、柏原小学校の児童数が減少す



関西・東くしら会 馬渡節雄会長の開会の挨拶



ボーカルが鹿児島出身「セーリング」による歌謡ショー



町議会からは竹焼酎を持参し、喜ばれました

るなどの問題が生じていると聞く。町全体の人口バランスを考慮した施策を考えてほしい。

●柏原には食料品等の店が無く高齢者が朝夕の買い物に困っていると聞く。町内巡回バスを運行するなど買い物弱者対策を考えてほしい。

●関西・東くしら会の出席者も高齢化して毎回同じ顔触れで集まっている。

●ふるさと納税の手続きや方法を簡素化してほしい。

●ふるさと東申良への思い語る関西地区在住の人々に、もっと町の特産物を紹介し対外的にも販売促進をアピールする工夫が必要である。

●ふるさと納税についての制度説明と納税協力者への返礼品や納税金の活用報告など、理解を求める努力が足りないと感じた。

●都市と農村の交流を図る観点から、関西・東くしら会の会員や家族などを地元東申良の各種行事に呼び寄せの努力が必要である。

●農業・漁業体験や歴史古墳などのイベントを企画することで、小・中・高生を対象にしたグリーン・ツーリズムの推進を図ることも必要である。

●お盆や正月に、ふるさと帰省ツアーを企画することも一案である。

●本町は他の市町村に比べ情報発信力が弱いので、今後の指摘があるので、今後は対外発信の工夫により、都市との教育・文化交流や農山漁村交流の積極的な情報発信に取り組む必要がある。

●関西地域における東くしら会の設立と交流の意義を踏まえて、各界で活躍されている本町に縁のある人々をルーピン大使として委嘱して活用する必要がある。

●東くしら会出席者の高齢化が進み、若年層の出席が少ないことに対する対応について、町当局並びに議会が町民の協力を得ながら情報を提供し積極的に出席を促す努力が必要である。

●欠席者の若年層と女性の声として、会費の8000円は負担が大きいとの意見がある。会費と開催内容の検討が必要である。

人口減少時代の政策提案はこれだ

今回、右記のテーマのセミナーに議員派遣で参加しましたのでご報告します。



報告者 議員 瀬戸山 譲一

◆日付 平成29年1月12日

◆場所 沖縄県青年会館

◆講師 宮本 正一氏

(医学博士/MBA)

- ・医療・健康問題研究所代表
- ・同志社大学生命医科学部研究員
- ・元寝屋川市議会議長

今回のセミナーには、北は北海道から全国各地の市町議員20名が参加していた。地元沖縄からは参加者の約半数、隣県の小林市からは4名の参加者があった。

講師の宮本氏は、このセミナーに参加する全ての自治体の情報（地方創生事業の内容など）を調べ、資料を準備していた。

セミナーは、参加議員一人一人に質問しながら進められた。

セミナーの要旨は、次のとおりだった。

人口減少を防ぐ特効薬はない

講師は頭からこう結論付けた。今、進行中の地方創生事業も各地で四苦八苦の状態で成功事例はいかばかりかと言われることと同じである。

特効薬がないからこそ議員のきめ細やかな活動が望まれる

その地域にあった実状から問題点をピックアップして浮き彫りにすることで、ここ東串良でも活発な議論をわき起こさねばならない。全国一律でない東串良独自の妙案を出せるか否かだ。

まず議員が情報通であらねばならない

インターネットを使った情報どりができるか、できないかが大きな鍵となるという。例えば内閣府、総務省、厚生労働省、経済産業省などの

ホームページにアクセスすると有用な情報がいっぱい載せられている。意外と皆さんこのことを見落としているのではないか、と言われた。

実際、ホームページを覗くと、例えば子育て支援のこと、老人介護のこと等、事細かに指針が書かれている。

そして、その部局に電話をしてみることに、そうすると驚くくらい丁寧に対応してくれるそう。国の役人さんの親切さにびつくりしますよ、と講師。

我々も自分の町の問題点、悩みを打ち明けると、いい答えがいただけるかもしれない。

▼とにかく、国も財政難。これから国からの財政的支援は厳しさを増してくることは間違いないと強調された。

自活できる町独自の政策案を早急に立ち上げるべきだ。

議会だよりに投稿しませんか

例えば

1. この町に住んで感じる事 (400字程度)
2. 議会を傍聴して (感想等)
3. 将来の夢 (400字程度)
4. 東串良町の未来図 (図画)
5. 自慢のワンショット写真
6. イラスト など

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局
メールアドレス: gikai@higashikushira.com

【しめきり】平成29年4月14日必着

【注意】作品の返品はいたしません。

●議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

●応募作品は、第133号(5月発行)で掲載する予定です。

投稿
まっす!





議長 田之畑 稔

農業基盤の整備で生産性の向上を！

土地改良事業で 心豊かな農村を創ります！



林田土地改良区
櫻木 孝盛 理事長



このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

議長 農業を基幹産業とする本町にとって、農業基盤の整備は農業生産性の向上を図るうえで重要な事業であります。

今回は、林田土地改良区の櫻木孝盛理事長に話を伺います。

議長 土地改良区の性格・事業についてお尋ねします。

櫻木 土地改良区は、土地改良法により、一定の地域内で土地改良事業を行うことを目的として設立された法人、公共組合であり、設立及び解散は、知事の認可が必要です。平成14年度から、愛称が「水土里ネット」となりました。
水：農業用水、地域用水など
土：土地、農地、土壌など
里：農村空間
農家や地域住民が一体となった生活空間など、豊かな自然環境、美しい景観を意味しています。

土地改良区の事業は、農業

生産の基盤の整備を図り、農業生産性の向上、農業総生産の増大及び農業構造の改善に資することを目的としています。

事業の内容は、農地のほ場整備をしたり、農業用のため池や水路など水利施設の維持や管理を行っており、農村地域における水と農地の管理主体としての役割を通して地域の環境保全にも寄与しています。

議長 組織運営の方法についてお尋ねします。

櫻木 土地改良区は、その地区内の組合員によって組織され、総会や総代会において組合員の意思が決定されます。その運営は組合員が選任した役員によって行われ、運営に要する経費は、組合員の負担により賄われます。

議長 林田土地改良区の組合員数と対象地域面積をお尋

ねします。
櫻木 林田土地改良区は、現在1322人の組合員で構成しています。
対象面積は644.5haです。

議長 林田土地改良区の現状と課題についてお尋ねします。

櫻木 林田土地改良区は、私を含む理事9名と監事3名の役員と男性職員2名のほか女性パート職員1名で運営しています。

課題として、現在は米の価格が低迷しており、転作等で水田における農家収入が保たれていますが、国の農業政策の変動により、水田農家の収入が維持できるの不安があります。また、揚水機場などの施設が老朽化しており、施設改修等に多額な費用が発生することが懸念されます。

議長 土地改良区は、農地の改良・保全・集団化や農道・用排水路などの新設・維持管理等重要な役割を担っています。本町の基幹産業である農業の振興発展のために櫻木理事長をはじめ役員及び組合員皆様の一層のご尽力をお願いします。

柏原こうしん跡地
柏原地区小さな拠点施設

にここ館 オープン!

平成29年1月11日柏原地区小さな拠点施設「にここ館」がオープンしました。地方創生加速化交付金を活用した柏原地区小さな拠点事業によるもので、施設内では、暮らしの保健室事業も行われ、2月20日には簡易郵便局が開局し、オープンセレモニーが行われる予定です。



オープン初日、店内には近所の方々が多数買い物に訪れていました。駐車場も完備してはいますが、徒歩で来店する方が多くみられました。
店内では、食品、日用品のほか、生花や果物も販売（月・金入荷）され、配達も行います。

お聞きしました!

来店された方の声

- ◆ オープンをとても楽しみにしていた車がない人は、近所で買い物ができるようになるので助かる
- ◆ 日用品の品揃えが良い
- ◆ お花や果物もあって良い
- ◆ 牛乳などの乳製品やお肉があるところ



ご近所の方々と賑わう店内



親切で明るいスタッフさんが対応してくれます!



このような施設が誕生したことは、地域の活性化の第一歩であり、これを機に、今後ますます柏原地区の活性化が図られるよう私たちが議会も期待しています。

店内の各コーナー



卵・みそ・しょうゆ等



キッチン用品・歯ブラシ等日用品



パン・コーヒー・お茶コーナー



108円均一コーナー



シャンプー・洗剤等コーナー



お惣菜コーナー



暮らしの保健室

フットマッサージなどを行っています

ほかにも豆腐・飲料・菓子類・カップ麺・ティッシュ等多数品揃えしています



「清掃前の様子」

▲ルーピン畑沿いが道路になっているが、雑草が生い茂り、観光ができる状態ではない

清掃活動を行いました！

去る12月26日、柏原海岸ルーピン畑沿いの除草作業及び清掃活動を実施しました。
当日は役員職員のみならずにも協力していただき、見違えるようにきれいになりました。



～清掃中の様子～



ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました



▲ルーピン畑の奥まで歩きやすくなりました



▲見晴らしがよくなりました

「清掃後の様子」

◆巡回活動のお知らせ◆

町議会では定期的（年4回）に町内巡回活動を行っています。
危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。

【連絡先】 東串良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

輪和話のひろば

Vol.14

このコーナーは、町内のあちらこちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いいたします。



たくさんの人から好評を得たピアノリサイタル

文化発信拠点としても期待「尾方呉服店」

今回は豊栄の尾方呉服店を紹介します。

築造100年の店舗をリニューアルされ地域の人が気軽に立ち寄れる場を開設された。訪れた方にコーヒーやお茶が供され「町内外の方々の交流の場としても活用してほしい」と店主の尾方広之さん。

これから様々なイベント会場として、絵画も並べられるギャラリーとして、ワークショップとして、そしてアーティストも呼べる音楽会場として展開を図りたいとのこと。

実際、去年の2月、店主



のピアニストの娘さんのピアノリサイタルが催され、昼は学童、夜は町内外の聴衆が駆けつけ好評を博した新聞、その他でも紹介されたことも記憶に新しい。店主の奥さまは将来、店内にグランドピアノを置き、店の充実度アップを考えているという。

ここ東串良・豊栄から文化発信の拠点が築かれるのかもしれない。ちなみに3月1日〜5日の間、恒例の「ひな祭り展」を開催する予定です。町内の皆様、粹でおしゃれな店内を覗かれてみては・・・。

取材を終えて

尾方呉服店ご夫婦が大隅半島ここ東串良から文化の発信地として色々と構想を練っておられる。今までにない息吹であり町民として大きく賛同し協力していきたいと思う。

取材者 瀬戸山 譲一

表紙の案内

七草祝い ~宮貫神社~



鹿兒島の伝統行事、七草祝い。今年は7人の子どもたちがお参りに訪れました。これからも健やかに元気にたくましく成長しますように...

編集後記

2017年を迎えた。世界がダイナミックに動き始めた。肥大化しすぎた金融システムは大きな気候変動、動乱によって一瞬で吹き飛ばす危険性をはらんでいると言われる。そうなるも我々の実生活にも多大な影響が及ぶものと思われる。元駐中国大使を務めた丹羽宇一郎氏は、その時こそ地方が「水」「食糧」「エネルギー」で自立すべきだと論じる。

悲観論ばかりでもない、医療、農業、環境等の分野、そして最先端ITの分野でも新

しいフロンティアが続々と萌芽してきている。

これからの時代、これらが地方が吸収し発展させることが地方復権の鍵となり、ひいては国体の維持につながると思う。ここ東串良も具体的施策の検討に入らばいいと思う。

瀬戸山 譲一

▼広報編集委員会

- 編集委員長 原田 猛
- 編集副委員長 瀬戸山 譲一
- 編集委員 泊 重巳
- 〃 前田 隆
- 〃 上園 ミキ
- 〃 宮地 利雄